南風原平和ガイドちゅ~しん

発行者 第31号



 \leftarrow

祈

和

ഗ

塔

NPO法人南風原平和ガイドの会 沖縄県南風原町字喜屋武257番地 南風原町立南風原文化センター内 098-889-2533 電話·FAX/

 ${\tt mail}/\ {\tt haebaru.\,gaidonokai@beetle.\,ocn.\,ne.\,jp}$

まだまだ日中は暑いですが、黄金森には、涼しい風が吹き始めましたね。 体調を崩さないよう、気を付けていきましょう。

黄金森周辺を歩く

南風原中学校

-総合的な学習の時間-





南風原中学校の一年生が、総合的学習の 時間を利用し、沖縄陸軍病院南風原壕群20 号や南風原文化センター、黄金森周辺、か すり会館やかすりの道などを歩きながら、地 域のことについて学習しています。

私たちガイドの会は黄金森周辺と20号壕を ご案内しました。

ていますが、黄金森周辺にある飯あげの道や 炊事場跡などを歩いてまわったことのある生徒 は少ない様子でした。残暑の厳しい中で、汗 びっしょりになりながらも、身近にこんな場所が あったのかと興味深そうにガイドの説明を聞い ていました。

コース: 祈和の塔→南風原国民学校跡→炊事 生徒の多くは、小学生の頃に20号壕を訪れ、場跡→飯あげの道→学童疎開の碑→仏の前

第3回ひめゆりガイド講習会

戦争の実相を語り継ぎ、平和の尊さを訴え、 いかなる戦争にも反対する ひめゆり平和祈 念資料館の理念を私たちガイドがお互い共 有する学習会が去った9月24日(金)同館に て行われました。

ひめゆりの基本的な共通認識、ややもすると 誤ったガイドの仕方だったかもと考えさせられ る貴重な時間でした。ひめゆりの証言者9名 の当時の様子を聞く機会を与えてくれた事に 感謝したいと思います。

黄金森周辺ガイド研修

日時:2010年10月24日(日)10:00~12:00 場所:南風原文化センター集合

黄金森周辺コース 実地研修

対象:南風原平和ガイドの会会員 参加費:資料代 300円 申し込み:ガイドの会事務局に10月19日 (火)までに参加・不参加をお知らせください。

事務局 098-889-2533

2003年。9月定例理事会

[2010年9月14日(火)18:30~]

主な議事、内容

- ・事務局より字マップ進捗状況の報告
- ・部会の進捗状況の報告
- ・浦添ようどれ上映実行委員会について 報告

大城和喜前文化センター館長が 沖縄県立芸術大学連続講座の 講師に

沖縄芸大附属研究所連続文化講座「近代 沖縄の大衆娯楽文化」第9回講座に大城和 喜さんが登壇、「民謡レコード音楽」につい て1時間半の講演を行います。連続講座で すが、一回だけの参加もでき事前申し込み は不要。久しぶりの和喜節が楽しみです!

場所:沖縄芸大付属研究所3階小講堂 駐車場有。場所がわからないときは講座受 講生の赤嶺アトム・友利・宮川にお聞き下さ

日時:10月27日(水)19:00~21:00

文化センター 展示会情報

伊禮若奈写真展 ~母になった記憶~

日時:10月9日(土)~10月17日(日)

場所:企画ホール

場所:ギャラリーさゆん

ギャラリーさゆん企画・南風原工芸リレー展2010 大城つや子・妙子親子展

日時:10月4日(月)~17日(日)

タマップ製作 スタート!

今年度の字マップ製作が開始しました。今 年度は、「宮城」「新川」の2カ字を調査し、 製作することになりました。完成は12月を予 定しています。 完成をお楽しみに!

報告 「南風原の沖縄戦を踏破する」

上記を命題とする学習会が9月19日(日)に 「沖縄平和ネットワーク」の主催で行われまし た。午前中に吉浜忍先生より「南風原の沖縄 戦とその特徴」として文化センター内にて講 演。首里の日本軍の司令部に対し、その後 背地に位置し、交通の要衝でもあったため、 補給兵たん部隊、沖縄陸軍病院等が設営さ れた。と報告しました。その後文化センター 学芸員の上地克哉さんの案内で、町内の戦 争遺跡のフィールドワーク を行いました。 さら に、午後からは、元町長の金城義夫さんより 自身の戦争体験と幼少期から町長にいたる までの半生記を語っていただきました。ユー モアあふれる語り口で会場からは笑い声も聞 こえていました。

南風原町社協福祉活動資金造成チャリティー上映会 浦添ようどれ~よみがえる古琉球

上映日:2010年10月31日(日) 上映場所:南風原文化センター 上映時間:11:00 /14:00 /18:00 主催:映画「浦添ようどれ~よみがえる古琉 球~」上映南風原町実行委員会 お問い合わせ:南風原平和ガイドの会

098-889-2533



1、壕の入り口出口の両側に積まれている 土は当時の状態を表していますか。(宮川)

入口両サイドの盛土は、発掘調査で検出さ れたもので、当時の遺構の一部です。公開 に際しては崩れないようにソイルセメント(土 とセメントを混ぜたもの)を被せてあります。 出口の盛土(2枚の扉の間にある、出口に向 かって右側)は発掘当初にあったものを復 元。出口を出た両サイドの盛土は当時のも のです。(上地)

2、2月の地震の影響はなにかありましたか。 (アトム)

特にありません。(上地)

3、天井の「姜」の字は今後どうする予定で すか。(宮川)

崩落を防ぐために透明のアクリル板と金属 製のアングルで押さえつけています。今のと ころ現状のままです。樹脂で固め切り取って 保存する方法を提案されたこともありました が、その処理及び工費が数百万円かかる上 に成功する保証もないということで採用する ことができませんでした。(上地)

☆ガイドをしていて思った疑問・質問を事務 局までおよせください。お待ちしています!

アンケート・お手紙のご紹介🤻

毎回、多くの皆様からご意見を頂き、ありがとうございます。多くの人々で共 有し、壕運営の一助にさせて頂きます。これからも是非、ご意見をお聞かせ 下さい。お待ちしています!

もっともっと多くの人に知ってもらいたいと改 めて感じました。今年は不幸か幸いか知らせ るには良いタイミングと思います。

7月18日 長野市 60代 男性

映画「ひめゆりの搭」などを見て実際の壕を 見てみたいと思っていました。

この度、見学させていただき、当時の壕の様 子が分かりました。 このような戦争は絶対し てはならないと心に誓いました。

8月21日 東京都 60代 女性

今まで何冊かひめゆり部隊についての本を 読んできましたが、実際にガイドさんに案内し の悲惨さを改めて感じました。

小学3年と1年の息子たちがどこまで理解で きたか分かりませんが、彼らの心に何かが残 ったことを願います。ありがとうございました。

8月28日 東京都 40代 女性

このたびは私1人のために、お時間を割いて いただき、誠にありがとうございました。

案内ボランティアの大嶺様のご丁寧な説明 で壕の実態、歴史がよくわかりました。

センター内の展示物にも大変感銘を受けま した。失礼を承知で申し上げますと、最初は 町立の施設ということで、展示内容もそれほ

ど充実していないのではないかと思っておりまし たが、見学するやこんな考えを持っていた自分 が恥ずかしくなった次第です。

沖縄に旅行に行く仲間などがいたら、私も貴 センター、そして壕の見学を勧めていきたいと 思います。

歴史の風化が問題になっている今日、貴セン ターの果たす役割は大きいものと信じておりま す。学芸員その他関係者の方々の今後のご活 躍をお祈り申し上げます。

9月7日 以下 不詳

*7月25日(日) 北谷ニライセンター主催の て頂き詳細を聞いて、想像の域を超えた戦争 親子平和学習で南風原文化センターと20号壕 の見学をしていただきました。

> 後日、子ども達の感想文が10通ほど送付され てきました。今回はそのなかからお一人の感想 を掲載させていただきます。

> ぼくは、おばあちゃんからせんそうの話を聞い た事があります。

ぼくのおばあちゃんはせんそうでにげていたと きに近くにばくだんがおちて、目が両方見えな くなったそうです。

夏休みにぼくは南風原文化センターとその近 くにある壕に行きました。

壕のなかにはヘルメットと電とうをもって入りまし

た。ぼくはちょっとこわかったです。

入ってからすぐにあったのが、土をほるつるは しと飲み物と薬がありました。おくに行くとすこし さむくなってまわりがぬれて下にはあながあい ていて、そこにはまっ黒な木がありました。その 木は壕をささえていた木だったそうです。

そこでせんそうの時けがをした人や、病気の人 がいた所でした。へいたいさんは目玉がとびだ していたりあごがなくなったりしたそうです。

壕の中の病院では血のうみで、うめき声が聞こ えたり、「水をくれ」や「めしをくれ」という声が聞 こえたそうです。へいたいさんは、いたくて家に 帰りたくなったりしたかもしれません。

壕の外に出ると小さな小屋がありました。 小屋をあけてもらって中に入ったら、「くさい」と 思いました。よく見てみるとへいたいさんの人形 がベッドでねていたのでビックリしました。

ほうたいには赤い血がついていて、かわいそう でした。あつかったし、ちょっとくらかったので こわいなあと思いました。

ガイドさんが「せんそうのときはもっとたいへん だったんだよ」と話してくれました。

さいごにかねをならしました。ぼくは「二度と せんそうがおこりませんように」と手をあわせま した。

北谷小 3年 男子

連載「閃光の中で」

沖縄陸軍病院の証言 陸軍病院を想う(前編) 衛生兵 仲村 喜英

私は第1補充兵として昭和16年10月召集 され、西部17部隊都城で約2ヶ月間歩兵訓 練を受けた後、さらに熊本県軍病院で衛生 兵としての教育を2ヶ月受けて除隊した。 昭和19年6月14日再応招。

球18803部隊(沖縄陸軍病院)に配属され た。入隊時の検査官は比嘉堅昌軍医中尉で 中学校の建物を使用していた。初めの頃、兵 隊は私1人で下士官は鮫島曹長他4、5名位 おられるようだった。入院患者はわずかで、目 大尉(軍医)が診療なされ、嘉手川軍医中尉 は、栄養、カロリー等の計算をしておられた。 嘉手川軍医はいつもウチナーグチで話して 下さった。(沖縄の人は私と軍医と2人だけだ った。)

上之蔵の軍医殿の病院へもお伺いした。 診療の器具機材が少なくて、私は公用の腕 堂病院にお伺いして借用にまわっていた。

その後、現地で看護婦や他の職員が採用され るようになり、外科は那覇市下泉町にあった済 生会那覇診療所へ移転した。私は開南中学の 宿舎より済生会の病院に通勤していた。

外来の看護婦には、上原キミ、棚原シズ、奥松 文子、比嘉千代子さん(2ヶ月後に退職)方が 来られたので各病院よりの器具借用は看護婦 の皆さん方に委せることになった。

昭和19年10月10日の那覇空襲の日は患者 が5、60人位いた。前日の9日の晩から患者を 避難させ始めていた。10日朝の読谷の空襲は、 皆を動揺させないため日本軍の演習だと言い 聞かせていた。残った兵隊は病院近くの甲辰 国民学校の小さな壕に避難させ、私は、他の2 あった。陸軍病院は那覇市樋川にあった開南 人の兵隊と毛布を被って那覇農園(現在ハーバ ービューホテル) に午後4時30分頃まで避難し ていた。

> それからさらに避難命令が出て10日の夕方、 南風原国民学校へ病院全体移動した。

南風原ではしばらく手術室にいたが、上原、奥 松、棚原さん方のベテランの看護婦がおられた ので、私は特別食の係に就いた。空襲で校舎 の消失後は患者を三角兵舎へ移動させ黄金森 に壕を堀り始めた。私は三角兵舎の週番兵を長 尾一等兵と2人で受け持ち、1ヶ月のうち15日 章をして自転車で県立病院、浜松病院、善興 位三角兵舎の患者を外に散歩させることになり 皆に喜ばれた。週番上等兵は本部にいて一緒

に勤務することなく、鹿児島県出身の長尾幸喜 一等兵と2人で仲良く楽しく勤務をしていた。ま た、末吉三之助上等兵や下野清蔵上等兵とも 親しく交っていた。

下野上等兵は終戦後捕虜となり米兵等にジャ パニイと呼ばれながら塵捨て場で働いていた が、たまたま私の村(北中城村)の者から私の ことを聞いて缶詰や食物や珍しい菓子等をこ とづけてと届けてくれた。敗戦後で食べ物も何 もない頃だったので、その優しい心づかいが大 変うれしく感激した。

3月末に壕に入ってから、週番兵は飯上げの 時は必ず付添兵を伴っていき、厨手班長に壕 番号と何人分受領に来たことを報告し、確認後 に受け取った。食缶は醤油一斗樽の空樽を使 用し、御飯は樽の八分目が百人分という計算 で渡されるので分配するのにきびしい思いをし た。炊事場は初めは藪の中にあったが、艦砲 射撃が激しくなり危険だったので壕の中へ移動 した。料理の材料も少なくなり乾燥した野菜(い もづるカンダバー)等を食べたが、あんなもの よく食べたものだと思う。特別食の献立が患者 に出るのを下士官が見て、自分にも配膳できな いかと申し出があった。そんな時には比嘉軍医 の印鑑と私の印鑑が必要だった。

「閃光の中でー沖縄陸軍病院の証言ー」よ り転載